

広島大学法科大学院

小論文試験

2019年8月24日（土）

10:00～11:10

注 意 事 項

- 1 これは小論文試験の問題冊子です。ページ数は、表紙を除いて5ページです。
- 2 解答用紙は2枚、下書用紙は1枚です。各問ごとに解答用紙があります。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に**横書き**で書いてください。**罫線外および裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。**
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子および下書用紙は持ち帰ってください。

【問題】

以下の文章は、A I（Artificial Intelligence，人工知能）が普及した社会について述べた著書から抜粋したものである。これを読んで、次の問いに答えなさい。

第1問（40点）

A Iができること及びできないことについて著者が述べていることを要約した上で、A Iができないことについて著者が挙げている具体例を述べなさい。

第2問（60点）

（1）3つの経済用語（「一物一価」、「情報の非対称性」、「需給の一致点での価格決定」）の内容を述べなさい。

（2）上記の用語を用いて、デジタル化される以前の市場の状況、及びA Iが導入されることで経済や労働市場に対して破壊的な影響を及ぼし得るとする著者の見解について説明しなさい。

（3）以上を踏まえ、著者の見解に対して、あなたがどのように考えるかについて述べなさい。